

防災器具など 研究成果発表

須崎工高3年生

【須崎】須崎市の須崎工業高校が4日、同市新町2丁目の市民文化会館で、3年生の課題研究発表会を開いた。計8グループが創意工夫を凝らした防災器具や乗り物などを紹介。地元住民や近隣自治体の中学生ら約850人が耳を傾けた。

同校は機械、造船、電気情報、ユニバーサルデザイン（UD）の4科で構成。3年生が課題研究に取り組み、発表している。



小型エンジン付きのリヤカーなどが展示された（須崎市の市民文化会館）

この日は各科から2組ずつが登壇し、リヤカーと車いすの連結金具（機械科）や東北支援に赴いた警察官の手記を基に作った紙芝居（UD科）、太陽光パネルを使った投光器（電気情報科）などについて映像や動画を交えて製作過程を紹介した。

小型エンジン付きの「アシストリヤカー」を発表した造船科の生徒は「災害時に役立てばうれしい」。同館口

ビーには実際の作品が展示され、来場者の注目を集めていた。

（山本 仁）



課題研究発表会

盛大に開催 3年生大活躍 !!